

議 事 録	作成日	担当
	2017. 7. 11	南海電気鉄道株式会社 新井清晋

会議名称	第5回 道頓堀川水辺空間利用検討会
開催日時	2017年7月10日(月)14:00~16:00
開催場所	南海電気鉄道株式会社 本社4階第1会議室

出席者 (役職・敬称 略)(順不同)	(24名)
【委員】	加藤 座長(関西学院大学 名誉教授)、長尾(専修大学 経済学部 教授)、豊島(弁護士)、吉田(公認会計士)、 稲本(宗右衛門町商店街振興組合)、高井(道頓堀商店街振興組合)、高橋(久左衛門町まちづくり協議会)、田中(道頓堀一丁目西櫓振興町会) 大谷(塩草連合会・稲荷二丁目振興町会)
【大阪市関連部局】	林(中央区役所)、武内(浪速区役所)、松谷(西区役所)、渡部(経済戦略局)、山中(建設局 河川・渡船管理事務所)
【事務局】	上田・日下部・椋本・松岡・藤木・須田(建設局河川課)
【管理運営事業者】	和田・脇田・酒井・新井(南海電気鉄道株式会社)
【傍聴・報道関係】	出席者なし

提供資料	作成元
資料-1 前回検討会(平成29年2月23日)の振り返り	事務局(建設局 河川課)
資料-2 平成28年度管理運営状況・収支(実績)について	管理運営事業者(南海電気鉄道株式会社)
資料-3 平成29年度予算及び取組み目標について	
資料-4 御堂筋完成80周年記念事業について	事務局(建設局 河川課)
資料-5 利用料金の改定について	
資料-6 オープンカフェ等の適正利用に向けて	

<p>1. 議事</p> <p>(1) 前回検討会(平成29年2月23日)の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 概要を説明 →西側エリアの新たな賑わい創出に向けた独立型店舗のエリア拡大については、大黒橋エリアでの試行実施の承認をいただいた後、実施に向けて事業者と調整し、5月16日よりパーベキューテラスの営業を開始した。トイレについてはお客さまの利便性を考慮し仮設トイレを3台設置している。 →ネーミングライツについては、日本橋船着場、太左衛門橋船着場、湊町船着場の3つの船着き場を対象に取り組みを進めている。今年度の上半期中に事業者の公募を行い、今年度中にパートナー企業と契約のうえ、表示板を設置する予定である。 <p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成28年度管理運営状況・収支(実績)について ◆平成29年度予算及び取組み目標について 概要を説明 →新たな独立型店舗の事業者は実施場所の上段部にあるビルの会社が運営している。簡易トイレの設置や周辺花壇の手入れも行っており、今後のモデルケースになればと考えている。 →イベント件数209件、ロケーション撮影31件、オープンカフェ最大出店数31件、広告3件でいずれも過去最高の件数を獲得した。 →新たな音楽イベントの誘致やリピーターになっていただいた結果、平日の開催件数が大幅に増加した。 →伝統行事や地元関係者の協力のもと様々なイベントを開催、あわせて映画公開PRイベントなどにより、道頓堀エリアの価値が向上し、オープンカフェの出店件数増加にもつながり、相乗効果が図れた。 →お客さまからの問い合わせが爆発的に増えた。その機会を捉え、営業用携帯電話を新たに設置し1件でも多く誘致できるように取り組んだ。 →収支状況については、平成28年度の営業損益は約940万円の黒字を計上した。昨年度と比較すると約3倍の収支となっている。地域活性化への貢献事業として支出した費用約876万円を加味すると実質的に約67万円の黒字となった。築工期からの通算5年目ではじめて黒字化を達成することができた。しかしながら累積損失の状況である。 →平成29年度予算及び目標については、過去最高である平成28年度の実績を目標としている。このエリアを商品として考え良質なサービスを提供し、過去最高件数を更新できるように取り組んでいく。 →素晴らしい成績であり南海電鉄の尽力・活躍により、このような過去最高の結果につながったと言える。また分かりやすい資料となっており、姿勢そのものがこの成果につながっていると言える。平成29年度の目標については、謙遜されているように思える。もっと高い目標をもって取り組んでいただければと思う。 →イベント開催エリアの拡大に向け考えていることがあれば教えてほしい。 →橋間による音の制限や種類が限られてくるが、例えば屋台形式のイベントやPRイベント、展示イベント等、多種多様なイベントの誘致に努めていく。 →広告について、平成28年度は特に多かったという認識をしているのか。 →巨大オブジェ掲出などがあり、多かったと認識している。 →非常に良く努力してくれている。西側エリアも力を入れていただき感謝している。需要が伸びればごみの問題があるので、例えば、オープンカフェ店舗に協力を仰ぐとか、安定した収益を上げているオープンカフェ店舗は、利用料金単価を上げて清掃費用に充てるとかが必要であると考え。広告に関して、価格設定の見直しなど柔軟に対応すれば、もっと実績が上がるかもしれないと考える。 →西側エリアの期待値が上がっており、他エリアとの違いが出れば、もっと魅力的になると考える。今後もインバウンドが好調であるので、サイン看板の多言語化が必要であると考え。一部の店では不適正な利用をしているが、整理が必要である。 →利用料金が安いと、料金の見直しが必要であると考え。もっと儲かる仕組みを考え、地域に貢献してくれればと思う。管理方法が難しいがゴミ箱の設置やトイレの案内表示などがあれば良いと考える。 →南海電鉄の絶え間ない努力に敬意を表している。インバウンドが非常に増えているが、インバウンドの需要がなくなることを考えると一抹の不安を感じるが、今のインバウンドのお客さまを大阪に来て良かったと思ってもらえるようにトイレの充実を考えてほしいと思う。 →トイレについては、インバウンド施策をはじめ、まちづくりとして、関連する環境局とも一緒に考えていかないといけない。 →インフラ部分については、とんぼりリバーウォークの将来イメージに関わるテーマであると考え。ただ、今回西側エリアで新たにオープンしたBBQテラスに物置とトイレを設置しているが、今後こういったケースを認めるといことになれば、見た目も大事な水辺にふさわしい物置やトイレの設置が望ましいと考える。今のBBQテラスで何か問題点等はあるか。 →利用されるお客さまからや一般の方からは特にそういったご意見はない。 →イベント件数が増えると警備や清掃の手間も増えてくると思うが、費用を見ると固定費になっている。この金額でまかなえているのか。 →イベントについては、主催者側で警備や清掃をしていただく契約になっている。その固定費というのは、それ以外の清掃業務のことであり、週3日行っているが、先ほどからお話があるゴミの件については、十分なのかどうかは課題として考えている。 →現委託料でできる部分で考えると週3日の清掃であるが、業者と契約している以外に、我々が正月をはじめそのほかにも清掃をしている。委託料が増えると清掃回数も増えもっと良い環境をつくることができる。また店舗が儲かることで周辺の清掃や環境整備を行っていく環境づくりに努めたいと考える。上質な空間づくりとして、店舗ごとにバラバラの机や椅子ではなく、南海電鉄が投資し統一するのはどうかといったご意見もあり、それもひとつの方法であるが、新規事業を行うなかで設備投資として、数年で回収見込みが立てば可能であるが、やはり利用料金を上げてもらわないとその分が収支として上がらず難しい。6年目に入り新しいステージとして考え方が変わってきたと考える。 →上質な空間を求めていくためには、新たな財力、人力が必要であり、違った仕組みが必要である。 	<p>(者・発言部署)</p> <p>椋本(河川課)</p> <p>新井(南海電鉄)</p> <p>豊島(弁護士)</p> <p>加藤(関西学院大学) 酒井(南海電鉄)</p> <p>長尾(専修大学) 酒井(南海電鉄) 高井(道頓堀商店街振興組合)</p> <p>高橋(久左衛門町まちづくり協議会)</p> <p>稲本(宗右衛門町商店街振興組合)</p> <p>田中(道頓堀一丁目西櫓振興町会)</p> <p>椋本(河川課) 加藤(関西学院大学)</p> <p>新井(南海電鉄) 吉田(公認会計士)</p> <p>酒井(南海電鉄)</p> <p>和田(南海電鉄)</p> <p>加藤(関西学院大学)</p>
--	---

議 事 録	作成日	担当
	2017. 7. 11	南海電気鉄道株式会社 新井清晋
<p>◆御堂筋完成80周年記念事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より概要を説明 →今年5月11日に80周年を迎える御堂筋について、公民連携による新しい御堂筋づくりをスタートさせた。記念すべき年を市民の皆さまと共に一緒に祝うことを目的に御堂筋完成80周年記念事業を実施している。この記念事業では御堂筋だけでなく周辺エリアも含めた将来について考えることとし、色々なワークショップを立ち上げている。 →「水の都・大阪～道頓堀川を中心に～」ワークショップを実施し、取り組みを進めている。具体的には、市民の皆さまと一緒にというところから市民参加型で行う予定にしている。 →一つ目は、水辺の学習会です。道頓堀川周辺の小学校に声をかけ普段水辺に接する機会が少ない子どもたちを対象にとんぼりリバークルーズに乗船してもらったり、大阪市環境局と連携し水質調査をして川のきれいさについて知ってもらう。 最後にアンケートによって子どもたちの声を聴く取り組みをする予定である。 →二つ目はパネル展の開催です。御堂筋が通っている道頓堀橋を中心に大黒橋までを対象に目隠しパネルを活用した展示会を考えており、ひとつは道頓堀橋下の展示パネルを活用し水の都大阪の歴史、魅力を行政からPRしようと考えている。 道頓堀橋から新戎橋間で南海電鉄による南津守小学校の子どもたちが描いた絵画の展示が予定されており、新戎橋から大黒橋間において写真・絵画展を考えている。とんぼりリバーウォーク写真・絵画展の一般募集を7月3日から開始している。 これらの作品の展示が回遊性の向上に繋がればと考えている。 →最後に、水辺のソーシャルデザイン検討会です。9月下旬に加藤先生を座長に、皆さまと一緒に、水辺の将来について考える場として検討会を開催したいと考えている。 →この検討会までにアンケートを行い、その結果を踏まえて水辺空間の将来像をどうしていくのか、また将来像に対してどういう取り組みで持続可能な空間にし続けられるのかを皆さまと一緒に考えたいと思う。 →アンケートの時期と対象者はどう考えているのか。 →予定では今月中にアンケート内容を固めて、8月上旬に実施する方向で考えている。対象はとんぼりリバーウォークに来られた人と沿線店舗の声を直接聞きたいと考えている。 →道頓堀川がもう少しきれいにならないか。水が透明で底まで見えたらもっとお客さまが増えるのではないか。 →大阪市では、河川管理者と下水道管理者が連携して水質改善に取り組んでいる。現在中浜下水処理場が老朽化している。平成32年度を目指し、老朽化の改築に合わせて高度処理ができる設備を取り入れる取り組みを進めており、その高度処理水を流すことを考えている。中浜下水処理場の老朽化による設備更新に合わせて、高度処理設備の導入を検討しており、平成32年度完成を目指している。完成後には高度処理水を道頓堀川・東横堀川へ導水する。 →水辺のソーシャルデザイン検討会とは具体的にどんなことなのか？アンケートで求めるものがアイデアなのか、具体的な形なのか。ソーシャルデザインとは何か。抽象すぎて分かりづらい。 →今後、ミナミエリアで様々な開発が進み、インバウンドをはじめ観光客が増えると予想される。水辺にいかにして降りてきてもらうかをポイントとして、そのためには水辺が安全で安心な魅力的な空間づくりが必要で、例えば清掃などきちんとしていく必要がある。より良い空間を維持していくためには、行政と管理運営事業者だけでなく、沿川店舗の協力が必要である。 行政、管理運営事業者、地元、沿川店舗と将来像を共有し、とんぼりリバーウォーク全体を良い空間にしていきたいというところを、皆さまと一緒に検討していければと考えている。 →エリアマネジメントを考えていこうということが本音であるのかと思う。その手立てとして考えていくところに主旨があるという気がする。より上質な空間・環境マネジメントをする仕組みを新たに考えていく場なのかと思うが、単なるイベントにならないよう注意が必要である。 →具体的なテーマを設定して議論しないといけないと感じているので、これからきちっと考えていく。 	<p>椋本(河川課)</p> <p>加藤(関西学院大学) 椋本(河川課)</p> <p>稲本(宗右衛門町商店街振興組合) 椋本(河川課)</p> <p>豊島(弁護士)</p> <p>椋本(河川課)</p> <p>加藤(関西学院大学)</p> <p>上田(河川課)</p>	
<p>(3) 検討事項</p> <p>◆利用料金の改定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より概要を説明 →平成30年度以降の新たな管理運営に向けて、販売促進イベントAを対象とした利用料金の改定を考えている。具体的には、利用料金の設定の上限値を撤廃する。 →ほかと比較しても安価な料金設定になっており、上限値を撤廃することで、管理運営事業者の自由度を高く、橋間や季節によって料金設定に差をつけるなどして、さらなるイベント誘致に繋がればと考えている。 設定金額については、管理運営事業者がホームページで公表すると共に、本検討会で実施状況、収支状況を報告して皆さまの意見を頂戴したいと考えている。 →あわせて戎橋から太左衛門橋間の中央付近に設定している基本スペースを撤廃し、ほかのエリアと同様に1㎡あたりの単価に統一する。 →料金改定は遊歩道上のイベントに限り、水上イベントについては現状のままと考えている。 →繁忙時期は高い設定とし、閑散時期には安価な設定とすることで、平均的な利用になれば良いと考える。 →将来的にもっと大幅に変えるべきだという意見もあるが、一気に変更することは難しいので、今回はこの内容でという方向性を出している。今は値段が安いために、イベントであったり、オープンカフェを出しているが、映画のイベントでは何億という広告費がでているにも関わらず、利用料は何万という単位であるため、ここはもっと高くして価値を上げるという考えもある。 しかし、まず一歩進めるというのが今回の話である。その間に、このエリアをどう作っていくのかという議論を積み重ねていく必要があると管理運営事業者として考えている。 →イベントは季節性や変動があるので、それで一定の枠を設けるということは、あるべき方向に近づくという理解でいいと思う。映画関係イベントも底上げしても良いかと思う。オープンカフェについては、かなりの上質化が本当にこの場所として目指すべき方向なのか否か、ミナミの賑わいにつながるのかどうかは考える余地があって、オープンカフェの値上げは一番十分考えた上でやる必要があると考える。 →見直しをすることは良いかと思う。地元の方も方向性としてはよろしいか。 →はい。 	<p>椋本(河川課)</p> <p>酒井(南海電鉄) 和田(南海電鉄)</p> <p>長尾(専修大学)</p> <p>加藤(関西学院大学) 地元代表者</p>	
<p>◆オープンカフェ等の適正利用に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より概要を説明 →現在36店舗がオープンカフェ営業を行っており、多くの人に水辺での飲食サービスをご利用いただき賑わい創出に欠かせないものとなっている状況である。しかしその反面、利用ルール外の不適正な営業形態が発生している。様々な年代の人が安心して快適にご利用できる場とするために、適正利用にむけた方策を整理、検討する必要があると考えている。 →問題は4点。1点目は、物販店の商品陳列の利用。2点目は、営業時間外の物品の放置。3点目は、テントやのぼりの設置。4点目は、契約範囲外の使用である。 →ほかに、オープンカフェ店舗に限らず全般的な問題として、無届の日よけの設置や突出し看板の設置、自転車の乗り入れなどがある。 →これまでの対応としては、南海電鉄が巡回時に未契約店舗を確認した際は、オープンカフェ契約の説明を行い契約を促した結果ほぼ未契約による利用はなくなった。次に、契約店舗による違反行為や契約対象外の店舗にに対して注意を行っている。 →あわせて大阪市と南海電鉄と合同で月1回の適正化指導を実施している。しかしながら、より効果的な方法を模索する必要があると考えている。店舗オーナーや運営企業等に面談しルールの説明や是正についての申し入れを行う。また文章による指導も必要であると考えている。ほかに、契約の有無や契約範囲が現地で判別できるように、視覚的に分かるような表示の方法など、どのようなやり方が効果的か検討する。 →物販店を認めることについて課題があると認識しているので、ご意見を頂戴したい。 →道路空間のような取り締まりができる権限は検討されていないという認識でよろしいか。 →罰則の規定がないが一足飛びにそこまで決めるのは難しいと考えている。現行のルールを十分認識されていないことが原因であると考えているので、ルールの理解を求め適正に営業していただくというところから着手していく。 →撤去や強制終了はできるのか。 →最終的には強い手段となると行政代執行がある。 	<p>松岡(河川課)</p> <p>加藤(関西学院大学) 松岡(河川課)</p> <p>加藤(関西学院大学) 松岡(河川課)</p>	

議 事 録	作成日	担当
	2017. 7. 11	南海電気鉄道株式会社 新井清晋
<p>→今の取り組みでいいと思うが、もっとスピード感をもってやってほしい。椅子やテーブルを統一すると一体感というかきれいに 見えると思う。ルールである利用範囲の枠にテープを貼るとか、剥がされてしまうという懸念があるが、一度やってみてはどうか と思う。</p> <p>→物品販売に関しては、検討が必要ではじめの取り組みが大事である。</p> <p>→物販販売については、課題があると考え。どういう空間であるべきかを考えながら検討していく必要がある。</p> <p>→街の心配としては、道頓堀川でこういった乱れがあると街全体の乱れにつながるのではないかという指摘だと思っている。 地元の皆さまと一緒にやっていくという新しい形をつくっていきましょうというご提案をいただいていると思っている。パトロー ルの際にも利用状況が分からなければ注意できないので、テープを貼るとかというアドバイスをいただいている。これからは、 沿川店舗を含め4者で、このエリアをつくっていかないと、上質な空間にできないと考えている。一緒にこの課題について話しな がら、次のステップに進んでいきたいと思っている。今後ともよろしくお願ひしたい。</p> <p>閉会</p>	<p>稲本(宗右衛門町商店街振興組合)</p> <p>高橋(久左衛門町まちづくり協議会)</p> <p>松岡(河川課)</p> <p>和田(南海電鉄)</p>	